

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月24日更新

事務事業名	ブックスタート事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 上原 哲也
計画	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	生涯学習課	担当者名 村上 敦子
体系	基本事業	59	相談支援体制の充実		所属班	図書館班	(内線) 2531
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑧
	一般	10	5	8	10610		コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	ブックスタートとは、0歳児の赤ちゃんとその保護者が絵本を使って対話し、親密で温かなふれあいの時間を持ってもらうことを目的とし、またその後の子育てにおいて、絵本を通じて子どもの創造性やこころの成長を育てていくことを促進する事業。・旧西合志町では平成13年度、議員の一般質問をきっかけに平成14年度より開始・旧合志町では、平成13年度に絵本を配布するのではなく、保護者に絵本の紹介から開始。平成14年度より予算がつき進呈を開始。・最近、家庭内での虐待、核家族化の進行などで子育ての悩みなど保護者とこどもとの対話、子育てそのものができていない状況が顕著になってきている。・開始時期は事業の実施自治体が少なかったが、現在では多くの自治体で実施しており事業の浸透が図られている。・旧西合志町については、3ヶ月健診時から7ヶ月健診時に配布時期を変更した。これまで、兄弟・多児に係わらず同じ本を配布していたが、保護者より「違う本もほしい」との要望があり平成21年度より差し替え用の本も購入し、要望に応じ配付している。
【業務の流れ】	毎月1回の乳児健診(7ヶ月児)時に、図書館の職員が子どもの心を育む本との関わりを説明し、2冊の絵本が入ったブックスタートパックを手渡している。・年間分の絵本パックの購入、人数を把握して配布の準備、市内2ヶ所の健診場所での配布の準備、配布
【主な予算費目】	報酬(非常勤職員の手当)、需用費(消耗品費・絵本の購入費)、パンフレット用紙代、燃料費等
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	保護者からは「絵本がもらえてうれしい」と好評である。読み聞かせの意義ならびに、乳幼児期のメディアとの関わりについて説明すると「知らなかった」「初めて聞いた」との声があり、改めて等事業の重要性を実感している。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
7カ月児健診時に絵本の配布と読み聞かせの指導と図書館の紹介を行った。628人にブックスタートパックを配布した。	24年度同様7カ月健診時に実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア ブックスタートパック配付数	件 7カ月健診児の増による消耗品費の増額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
0歳児とその保護者	(単位) 人
	→ ア 対象児数(7カ月児健診対象児数)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
絵本を通じて保護者と赤ちゃんの対話のきっかけとしてもらう	(単位) 冊
	→ ア 図書館での絵本の貸出冊数
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
・図書館での絵本の貸し出し冊数より、ブックスタートの効果把握できる。 ・ブックスタートの啓発事業により、図書館での絵本の貸出増が見込まれる為	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア 件		613	628	630	661	630	630	630	630
② 対象指標	ア 人		613	628	630	716	630	630	630	630
③ 成果指標	ア 冊		108,389	109,654	105,000	112,394	106,000	107,000	108,000	109,000
投資 入 費 量	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,037	1,001	1,003	1,002	1,008	1,088	1,008	1,008
(A) 事業費計	千円	1,037	1,001	1,003	1,002	1,008	1,088	1,008	1,008	
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	3	3	5	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	77	152	160	182	160	160	160	160
	(B)人件費計	千円	317	613	646	740	646	646	646	646
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,354	1,614	1,649	1,742	1,654	1,734	1,654	1,654

事務事業名	ブックスタート事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 出生数も当初見込み数より増である上、ブックスタートの効果により図書館における絵本の貸出冊数も増加している。
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新興住宅地の増加に伴い、出生数も増えているため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 おはなし会の時などに、同年代の子どもを持つ親同士の語らいの場を設ける等子育ての悩みの解消を図る。・2～3歳児への事業を行うことにより、更なる浸透と親のためのサポートを行う。等、フォローを行う必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】 (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 対象者のすべてに絵本を配布し、その効能・意義を伝えることのできる事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 需用費(消耗品費:絵本の購入費)については、現在は特定非営利活動法人(NPO)により定価の半分程度の価格で絵本を購入しており、寄付等が行われない限り削減の余地はない。また、人口の増加に伴い対象児も年々増加傾向にあるため、これ以上の削減は難しい。・報酬(非常勤職員の手当て)については、完全にカットできるわけではないが、ボランティアなどできるだけ市民の協力が得られれば多少の削減余地はある。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ボランティアを活用しつつも最小人員で対応している。時間短縮も医師の検診次第であり調整できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者は0歳児と保護者に限られるが、子育て支援の重要な施策であり、事業費についても必要最低限で行っている。また、受益者負担で行う性格の事業ではない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域のボランティアの方にも、ブックスタート配付時の説明等の協力をいただいております。役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

事業自体は浸透しつつある。親子のスキンシップと絆を深めるために実施している事業ではあるが、同時に図書館の周知にもかなりの役割を担っていると言える。転入者も多く、子育てのバックアップとともに、図書館の活性化にも成果があると考える。今後とも、指導の質を上げ、実施を続けていければと思う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						